

グリーンボランティアならクラブ <会報 37号> 平成 21年 4月 10日発行

事務局：(財) 奈良県緑化推進協会内

〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6

TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110

メールアドレス：gvnc@nifty.com

ホームページ：<http://homepage2.nifty.com/gvnc>

●主な活動の記録

1月10日(土) 定例活動 新年会 矢田山遊びの森

年が変わって最初の定例、うすら寒い日であったが約30名が参加。新年の挨拶に続いて、今年一年元気でケガなく活動が出来るよう、皆で声を合わせて”ヨーン”と気合を入れ、万葉の森パートIIと癒しの森の地拵え、橋の架け替えの為に基礎工事等に分かれての作業。

昼には甘く熱い甘酒で体を温め、午後からは薪割り、芝生広場周辺を自然観察を兼ねての清掃活動と、午前中に引続いての橋の架け替え作業を行った。

気合を入れて



橋の架け替え



地拵え



万葉の森パートII

癒しの森

1月18日(日) 搬出技術研修—林研吸収源対策事業

日笠地区民有林の26年生ヒノキ林において数度に亘り間伐研修を行ってきたが、間伐材を有効利用すべく造材・搬出が必要にてこのための研修。北部農林振興事務所の指導・協力の下、前もって設置しておいた“ひっぱりだこ”(簡易ウインチ)を使って材を林道までひっぱり上げ、軽トラックにて搬出、製材所へ運び込んだ。

製材後はベンチ、プランターづくり等に利用予定。

ひっぱりだこ



材の巻上げ



搬出



製材所搬入



1月24日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中、万葉の森パートII/癒しの森の両地において、3月に行われる植樹祭に向けての地拵えとして、ササの伐開・巻き降ろし・二度刈り・水抜き等の作業を手分けして行った。

午後からは、伐りとってきた木・竹を有効活用すべく炭材用に割ったり、杭として利用するよう皮

むきを行った。同時に木炭窯へ炭材を8割方詰め込んだ。この日、男女一名づつの新規入会があ

った。

2月28日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

40名弱が参加。来月植林祭が行われる「癒しの森」と「万葉の森パートII」(いずれも放置棚田跡地を森に再生する事業)で、ほぼ最後の仕上げとなる地拵え作業を手分けして行った。一方間伐材の有効活用の一環として、交流館前の生垣の修復に利用すべく、民有林から伐り出してきたヒノキ丸太を腐蝕を防止するために焦げ目を入れてから柵に積上げた。又一般参加者を交えて、草木染めと椎茸の植菌も同時に行った。草木染めは、べに花を使つてのもの。一度は黄色に染まった布が染の回数を重ねていくと、きれいな赤色に染上がるの見て驚きと共に大いに満足かつ楽しんで頂いた。椎茸植菌は民有林から伐り出したホダ木にドリルで等間隔に穴をあけ、種菌を打ち込んでから木陰に仮伏せ込みをした。恒例となっている公園周辺の清掃活動として、駐車場近辺のゴミ拾いを実施。

草木染め風景



種菌の打ち込み



生垣修復作業



上々の仕上り



3月5日(木) 県立筒井寮 クラフト指導

2年前より毎学期に一度、毎回異なるテーマ(材料)でクラフト指導を行ってきて6回目となる今日、当クラブ員8名が訪問。今回はマツボックリを主体に各種木の実(殻)を使つての小動物づくりに取組んだ。いつも我々の訪問を心待ちにしてくれている寮生(児童)10数名が、早速見本を参考に作品づくりにとりかかった。3個も作り上げた子どもがもう一つと意気込んだところで時間切れとなり、非常に悔しそうな顔をしていたのが印象的。いつものことながら子ども達の発想の豊さに驚かされながら我々も大いに楽しませてもらった一時だった。

製作風景



表情豊かな作品の数々



3月14日(土) 「景観と癒しの森」植樹祭一緑の募金公募事業

奈良県森林ボランティア連絡協議会主催、(財)奈良県緑化推進協会後援で、矢田山遊びの森で開催された。森の景観を眺め、心身のリフレッシュを図るため、季節により香りのよい花を楽しむような森づくりを目指し、雑木・ササ・ツルで一杯の耕作放棄地を整備、ハンノキ・カツラ他10種の木々を植えるもの。生憎の夜来の雨にもかかわらずサタデースクールの児童・先生・保護者含め約70名を初め、一般参加者・当クラブ会員合わせ120名弱が参加。午後の天候回復に期待し

当初予定のプログラムを午前・午後を入替えて実施。

午前中、子ども達は四班に分かれ、もちつき・クラフト（がりがりトンボづくり）・クイズラリーを順々に楽しんだ。お昼には自分達で丸めたおもちのに入った甘いぜんざいを味わった。午後、幸い雨が上がったものの植樹は植栽地並びに山道が非常にぬかるんでいるため、子ども達は残念ながら断念。大人達だけで120本の苗木をぬかるみと格闘しながら根腐れ防止のための高植えを行った。

うまく丸められたかな



クイズ チョット難しかったかな



全問正解？



トンボが回ったよ！



植樹風景



3月20日（金）特定事業 間伐材の利用推進

日笠地区民有林の里山を伐採の依頼を受け、昨年より何回か作業に入り伐り開いていったが、中腹に一本立ちの30mは優にある100年生近くの大きなスギがあるも、根元のほうは虫・鳥の被害を受けて痛んでおり、もったいないが危険でもあり伐倒することとなった。安全の為ロープをかけたヘルメットを使ってしっかりとひっぱって切り倒した。倒れた瞬間は大きいだけに誠に爽快だった。伐り開いたところには我々が矢田山で実生から育苗したコナラ・クヌギを持ち込み、山主さんから提供のサクラと合わせ植栽した。伐り出した材は矢田山へ持ち帰り、炭材・炭窯用薪に利用。

3月28日（土）「万葉の森」づくり パート2 植林祭

＜緑の募金公募事業＞（本事業に引当てられる「緑の募金」は全国47都道府県のローソン各店舗を通じて多くの方々からお寄せ頂いた寄付金）

平城遷都1300年記念事業協会並びに（財）奈良県緑化推進協会の後援を得て、矢田山遊びの森で昨年に続いて開催。

長年放置されササ、ツル、灌木が生茂っていた棚田跡地を昨年10月から整備してきたところに、万葉集に詠まれた樹木、ヤマザクラ・イロハモミジ・スモモ他14種約100本を植え、地域温暖化防止の願いを込めての森づくり。

一般公募を含め100名強が集り、開会式では来賓の県農林部北野次長、（株）ローソン大和郡山番条店松村オーナーから祝辞を頂き、オリエンテーション・記念撮影。そして各自道具をもって植栽地へ移動。

来賓の手で記念植樹が行われた後、4班に分かれ各班リーダーの指導の下、一本ずつ心を込めて苗

木を植付、支柱の打ち込み、樹名板とその木を詠込んだ和歌カードを取付け、最後に班毎に参加者名を書き込んだ標柱を立て集合写真を撮り作業を完了。

昼食に料理体験館に戻ると、山の幸を煮込んだ温かい豚汁が振舞われた。

午後からは、万葉樹木観察会と葉づくりが行われた。

観察会は指導員に案内され万葉集で詠まれた樹木を探し説明を聞き、樹名+和歌カードを取付けながらの散策。

葉づくりは万葉樹木の和歌と共に押し葉を挟んで、また独創的なイラストと押し葉を組合せた下敷きを作りラミネートでカバーして次々と仕上げていった。

多くが昨年が続いての参加、中でも昨年母親の胸に抱かれての最年少者、今年は自分の脚でしっかり歩いての参加は我々を大いに喜ばせた。

来賓祝辞



集合写真



記念植樹



頑張るぞー



樹名板書き



記念撮影



観 察 会



葉づくり



「緑の募金」 街頭活動に参加しよう！

みどりの日をはさんでの一ヶ月間はみどりの月間です。この間恒例の街頭募金活動を

4月21日（火）近鉄奈良駅前

4月29日（水）橿原アルル前

にて午前9:00より行います。一人でも多くの参加をお願いします。